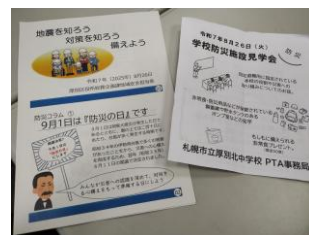


PTA 事務局 活動報告

令和 7 年 10 月吉日
札幌市立厚別北中学校 PTA
広報部編集

去る 8 月 26 日、厚別区防災担当の職員さんをお招きして学校防災施設見学会を実施いたしました。

参加者は 15 名弱とやや少ない人数でしたが、指定避難所である本校の役割や災害への取り組みについて詳しく学べる、大変貴重な機会でした。



本校は震度 6 以上の地震が発生した際、避難所として学校が開放されます。避難所が開設された時には体育館側にある小さな玄関が出入口となり、生徒玄関は開放されません。とても細かな事ですが、この見学会ではいつ起きるかわからない災害に備え、避難所への速やかな移動や事前に備蓄されている物を確認するなど、いざ利用するとなった時の安心と知識を得ることができます。

実際に校内を見学し備蓄庫やポンプ室などを見学することもできます。また今回は非常食の試食品配布もありました。防災施設として利用する際の食事も確認もでき、お子さんのアレルギーなどの事前対策や自宅の非常用備蓄品の参考にもなります。



～参加者感想～

- ・厚北中学校は指定の避難場所ではなかったのですが、実際に水道の水圧変換の場所や、備蓄品のある場所を見て説明を受け、とてもためになりました。有事の際は、もしかしたら、お世話になるかもしれませんし、学校に避難することがあるかもしれません。備蓄について、見直すきっかけになりました。備えがあると、安心だと思うので、日ごろから意識して行動していきたいです。
- ・昨年の参加が有意義だったので、本年も参加させていただきました。区のご担当者よりわかり安い資料が配布され丁寧に説明頂き、普段から災害に対してどのような意識を持って生活するべきかを学ぶ事ができました。校内見学では普段は鍵が掛けられて見る事の出来ないポンプ室と備蓄庫を見学し、貯水タンクや保管備蓄品の説明を受けました。また屋上の様子を見学する事もできました。年に 1 度でもこのように、防災に対し見て考える時間を持つ事は、いざという時に慌てず行動するための有効な経験だと思います。今回参加記念品としてアルファ米や長期保存のお菓子などを頂きましたので、これをきっかけに保存食品を 1 度見直ししてみようと思います。
- ・初めて防災施設見学会に参加しました。普段あまり見る事のない、備蓄庫や貯水タンクのあるポンプ室、屋上を見学できました。使うような事が起きてはほしくないですが、もしもの時に役立てたいです。備蓄品など日頃からの準備も大切だと改めて感じました。

札幌市の防災アプリ「そなえ」もスマホにダウンロードされると、いざという時いつでもマップを確認いただけます。

この見学会はまたとない機会です。一度ご参加いただければ、家族だけでなく、周りのご家族も守る事ができるかもしれません。是非ご参加いただければと思います。